

滋賀県立成人病センター



▶ 病院の概要

所在地：守山市守山五丁目4番30号
 開設者：滋賀県知事
 開設年月日：昭和45年12月1日
 院長：宮地 良樹
 病床数：535床
 診療科目：血液・腫瘍内科、糖尿病・内分泌内科、神経内科、循環器内科、消化器内科、呼吸器内科、外科、
 乳腺外科、整形外科、形成外科、脳神経外科、呼吸器外科、心臓血管外科、精神科、泌尿器科、婦人科、
 眼科、耳鼻いんご科、皮膚科、麻酔科、放射線診断科、放射線治療科、緩和ケア科、歯科口腔外科、
 病理診断科、リハビリテーション科（免疫内科、腎臓内科、老年内科：専門外来あり）
 医師数：117名 指導医数：44名
 一日平均外来患者数：889.5人 一日平均入院患者数：401.2人

▶ 研修プログラムの目的と特徴

時代の要請に応じたプライマリーケアの充実ならびに全人的に患者を診察することのできる臨床研修プログラムであると同時に、専門医資格取得に向け、また後期研修に向けた効率的な初期研修を追求しています。

【内科は2科選択可能】 内科研修は、7ヶ月を症例数に応じて4分割し研修します。希望に応じ選択できる体制です。循環器内科、消化器内科では専門科診療のみならず総合内科的な研修も行い、基本手技の習熟も目的としています。循環器内科、神経内科、呼吸器内科、糖尿病・内分泌内科、消化器内科、血液・腫瘍内科の選択が可能です。

【充実した麻酔科研修】 救急医療実施に必須の手技は、十分な経験数を確保できます。救急症例も、優先して処置にあたってもらえます。

【協力施設との連携】 施設の性質上、小児科、精神科、産科、地域医療は、協力施設での研修となります。複数の施設を経験できるのも魅力です。

【がん関連特有の診療科も選択可能】 緩和ケア科や放射線治療科のほか、病理診断科を選択することも可能です。各科指導医による専門性の高い研修が経験できます。

【標準コース】 標準的なプログラム内容で、2年目の選択を10か月としていますので、1年目の研修を経験しながら、自分にあった進路を見定めただけです。

▶ 研修スケジュール

平成30年度プログラムより カリキュラムの一部変更予定です。変更後プログラムによるスケジュール例

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年次	内科7ヶ月							救急2ヶ月	麻酔科	自由選択	外科系	
	夜間救急外来対応											
2年次	地域	産科or小児科	精神科(2~4週)	自由選択								
	夜間救急外来対応											

1年次の救急は2ヶ月で、救急当直を救急研修の一環とみなし、救急の3ヶ月研修とする。外科系は外科・呼吸器外科・脳外科から選択。2年次は地域1ヶ月（必須）、産婦人科または小児科のどちらかを選択（1ヶ月）することとする。精神科（2～4週）を推奨し、10ヶ月の自由選択期間を設ける

▶ 研修協力病院・研修協力施設

研修協力病院：(産科) 大津赤十字病院 近江八幡市立総合医療センター 彦根市立病院
 (小児科) 滋賀県立小児保健医療センター、滋賀医科大学医学部附属病院、京都大学医学部付属病院、守山市民病院
 (精神科) 滋賀県立精神医療センター、医療法人周行会湖南病院、公益財団法人豊郷病院
 (救急) 社会福祉法人恩賜財団 済生会滋賀県病院
 研修協力施設：(地域医療) 東近江市永源寺診療所、東近江市あいとう診療所、湖南市立石部医療センター、地域包括ケアセンターいびぎ、守山市民病院

▶ 病院のアピールポイント

研修責任者からのメッセージ
 (プログラム責任者)
 消化器内科部長
 松村 和宜(神戸大学卒)



滋賀県立成人病センターは滋賀県の湖南地域、守山市にあります。JRびわこ線で京都駅から22分と交通の利便性に富んだ、歴史と自然にめぐまれた街です。

当センターは滋賀県の成人病(生活習慣病)治療の高度専門基幹病院として創設されました。がん、心臓血管疾患、脳神経疾患を中心に急性期医療、高度専門医療を提供しています。また高齢化社会に対応すべく、認知症治療やリハビリテーションにも力を入れています。

がん治療においては県内唯一の都道府県がん診療連携拠点病院で、がんの手術の症例数は県下有数です。また心臓血管疾患のカテーテルインターベンション治療や不整脈アブレーション治療・ペースメーカー治療の症例数も県下有数です。

上記の病院の特色上、当院の研修は、通常の市中病院の研修とは異なります。小児科、精神科、産科研修は協力病院で行う形になります。逆に成人病治療のセンターとしての設備や人材は充実しています。心臓血管疾患や脳神経疾患の救急を積極的に扱い、一般の救急も行っています。がん、心臓血管疾患、脳神経疾患の診療科をささえる麻酔科、放射線診断科、放射線治療科、病理部、緩和ケア科などの医療部門はもとより、看護部、放射線部、薬剤部、臨床検査部、臨床工学部、栄養指導部などのメディカル部門はみな、チーム医療の一員として、患者さんの治療に丸となってあたっています。

シニアレジデントを含め若い職員が多く、大学的なアカデミックなよさと市中病院のプラクティカルなよさをミックスした研修が可能です。また若いみなさんが安心して研修に専念できるように、病院の近くに快適な職員宿舎を設けています。就業時間や長期休暇、学会出張などに最大限の配慮を行っています。

私たちは、最終的には患者さんに対して、上から目線で対応する医師ではなく、患者さんとともに考える医師でありたいと思っています。専門性の高いチームの一員として、若いみなさんをお迎えできればと期待しています。

研修医からのメッセージ
 平成22,23年度研修
 (当センター消化器内科医員)
 向 あかね(福井大学卒)



私は平成22,23年度に滋賀県立成人病センターで初期研修を終りました。成人病センターは滋賀県唯一の都道府県がん診療連携拠点病院であり、また心臓血管疾患、脳神経疾患の三次救急病院として地域の中核医療を担っています。

臨床研修病院として当院の特徴を主に3つ挙げるとすれば、①大学病院と市中病院の中間的存在であること②自由度の高い研修内容③後期研修も視野に入れた幅広い研修であると思います。

まず①についてですが、当院は都道府県がん診療連携拠点病院として、非常に専門性の高い診療を行っています。当院で研修をされれば、一般の市中病院から紹介されて来られる珍しい疾患の患者さんを担当する機会もたくさんあるでしょう。一方、地域を支える県立病院としての役割もあり、いわゆるcommon diseaseの症例も十分にあります。Common diseaseをしっかりと押えたいという高い疾患も経験したいという方にはぜひ一度見学に来て頂きたいと思います。

②については、当院の研修プログラムは2年目に11ヶ月という長い自由選択期間があり、各個人の希望に応じてプログラムを組む事ができます。年度毎に採用される研修医の数も少数ですので、希望に応じられないという事はないと思われまます。

③については、当院では各科とも後期研修医の受け入れを行っており、他院からも毎年多数のレジデントが採用されています。年代に近い先輩医師がいることで、自分の進路について相談しやすい環境にあります。

初期研修を終えた後に当院のレジデントとして残る事も可能ですので、特にがん診療、循環器、脳神経系へ進路をお考えの方にはお勧め致します。もちろん、当院で初期研修を終えた後に他院での後期研修を希望されたとしても、一切制約はありませんのでご安心ください。

他にも緩和ケア科、放射線治療科、病理診断科など、がん診療連携拠点病院ならではの診療科も充実しています。少しでも当院での研修に興味を持って頂けたら、ぜひ見学にいらして下さい。

滋賀県立成人病センター

▶ 研修・認定施設一覧

- 救急告示病院
 - 都道府県がん診療連携拠点病院
 - 病院機能評価認定病院 (ver.6.0)
 - 日本血液学会認定 研修施設
 - 日本内科学会認定 認定医制度教育病院
 - 日本循環器学会 循環器専門医研修施設
 - 日本心臓血管インターベンション治療学会 認定研修施設
 - 日本呼吸器学会認定施設
 - 日本外科学会外科専門医制度 修練施設
 - 日本消化器外科学会 専門医修練施設
 - 日本麻酔科学会 麻酔科認定病院
 - 日本脳神経外科学会 専門医認定制度指定訓練施設
 - 日本脳卒中学会専門医認定制度研修教育病院
 - 日本病理学会 研修認定施設B
 - 日本放射線腫瘍学会認定協力放射線治療施設
 - 日本緩和医療学会認定研修施設
- ほか多数

▶ 募集要項

応募資格：平成30年医師国家試験合格予定者
 募集人員：7名（定数調整により変更の場合があります）
 身分：滋賀県非常勤嘱託員（研修医）
 給与：1年目 年収実績 / 4,800,000円
 2年目 年収実績 / 6,500,000円
 保険：健康保険、厚生年金保険、雇用保険、
 労災保険、勤務医賠償責任保険
 住居：職員宿舎への入居可能（徒歩約3分）

▶ 応募連絡先

所在地：守山市守山五丁目4番30号
 担当部署：総務課
 電話：077-582-8034
 E-mail: resi-center@mdc.med.shiga-pref.jp
 URL: http://www.pref.shiga.lg.jp/e/seijin/

▶ 交通案内

